

Rotary

Yachiyo



Imagine
ロータリー

2022-23 年度国際ロータリーテーマ

「イマジン ロータリー」

2022-23 年度クラブテーマ

「ロータリーを学び、語り、

奉仕を実践していこう。“Think”」

週報 第2670回

2022年9月30日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

今回例会行事

テーマ：クラブ協議会

担当：研修会

次回例会 10月9日

テーマ：地区大会

アパホテル&リゾート東京ベイ幕張

◆◆◆◆第2669例会◆◆◆◆

司会 小村昌三

「それでこそロータリー」

副会長挨拶

飯生高一郎

こんにちは。

本日は杉会長がお休みですので、代わりにご挨拶致します。杉会長は毎週熱心に素晴らしいお話をされていますので、多少なりとも研修に近いようなお話をしたいと思います。

“親睦とは”

ロータリーの二本の柱として、ロータリアンのほとんどは親睦と奉仕をあげますし、新しいロータリーフィールドが始まって、新会長の挨拶にも決まって親睦と奉仕という言葉が述べられます。親睦と奉仕がロータリーライフを支える二本の大きな柱であることは、疑いのない事実です。親睦が失われればクラブは崩壊するだろうし、奉仕がロータリー運動の大きな目的であることは疑いのない事実です。ロータリーは敢えて親睦と奉仕の解釈を、世間一般の人たちが考える解釈と異なる次元に置いています。ロータリーが定義する親睦と奉仕は、いかなる辞書を引いても正しい解釈が活字化されていないロータリー独自の概念であり、さらに、それを正しく理解しない限り、ロータリー思想の原理を語ることはできないのです。“Fellowship”を「親睦」と訳したことにも問題があるのかも知れません。むしろ、「連帯感」とか「協調」と訳す方が理解し易いでしょう。

「親睦」とはロータリークラブが、クラブとして存続していく上で欠かすことの出来ない必要条件となる、ロータリアン個人個人の心が結合した状態を表す概念なのです。言いかえれば、“Fellowship”はロータリーの引力とも言えます。

“入りて学び、出でて奉仕せよ”

ロータリー運動の実体を、見事に表した言葉として、「入りて学び、出でて奉仕せよ」“Enter to learn, Go forth to serve”という言葉があります。世の中のあらゆる有用な職業から選ばれた裁量権を持った職業人が、例会に集い、例会の場で、「職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を図り、その結果として奉仕の心が育まれてきます。この例会における一連の活動のことを「親睦」と呼ぶのです。例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践します。これが理想とされるロータリーライフです。」悩みごとを相談する真の友人こそロータリーの友たるには、ロータリーの友情即ち親睦を更に高めなければなりません。もし、事業不振のため退会を余儀なくされる会員がいたとすれば、そのクラブにはロータリーの親睦がなかつたことを証明することになるのです。職業上の相談はどんなことでもクラブ内の友人に相談できる。どんなことを相談しても、自分のマイナスになって返ってくることは絶対にない。これが可能なクラブのことを親睦があるクラブと言います。

幹事報告

幹事 中村賢治

- ・青森県大雨災害支援金の依頼がきておりますので、本日托鉢を行います。
35,000円集まりました。
- ご協力ありがとうございました。
- ・9/30 花島文成様入会式
- ・9/30 例会後戦略計画委員会開催
- ・9/17 R財団セミナー：安宅会員・会長・幹事がzoom参加します。
- ・10/1 研修系三委員会合同セミナー開催
飯生会員、会長幹事で参加します。
- ・中島貞好会員のご尊父ご逝去。詳細が決まりましたら別途ご連絡致します。

委嘱状手交

2022-23年度 青少年交換委員会
委員 稲山 雅治会員
委員 久土地 剛会員

委員会報告

八千代市民祭りについて 杉山智基会員

上代実行委員長の代理でご案内いたします。

八千代市民祭り開催

日程：10/15(土)

場所：八千代市多目的広場

本日はご寄付のお願いでございます。ご協力の程、よろしくお願い致します。

また、八千代市観光協会からご案内いたします。

八千代彼岸花まつり開催

日時：9/17(土) 10:00よりセレモニー

場所：村上緑地公園

彼岸花まつりは9/25迄開催しています。

お祝い

本人誕生日：石渡会員・風間会員

結婚記念日：中村会員・橋本会員

夫人誕生日：松戸優子様

例会行事

クラブ広報委員会 委員長田村隆治

7/1に渡米した、グローバル補助金奨学生の松井智世さんとzoomでつなぎ、現況についてお話を頂きます。現地時刻は深夜12時位です。よろしくお願い致します。

テーマ：奨学生として渡米して現況 グローバル補助金奨学生 松井智世様

皆様こんにちは。グローバル奨学生の松井智世と申します。今回はこのような貴重な機会をいただきましてありがとうございます。本日は留学生としての現在の私の生活についてご報告をさせて頂きます。

まず初めてお目にかかる方もいらっしゃるかと思いますので簡単自己紹介をさせて頂きます。松井智世と申します出身は岐阜県の岐阜市で、職業は内科医をしていました。またそれと同時に、遠隔医療機器の臨床治験や開発を大学病院にて行っています。現在第2790地区のグローバル奨学生として、アメリカのミシガン大学で経営学を勉強しています。MBAの中でも、ヘルスケアに特化したカリキュラムに所属しています。八千代ロータリークラブとの関わりですが、私は2017年に医学部を卒業しその後静岡県の伊豆半島の病院で2年間勤務しました。2019年に東京女子医科大学の循環器内科に入局し2020年に八千代医療センターに出向しました。八千代医療センターの循環器内科に2022年の3月まで勤務をしておりました。そこで留学を決意しまして八千代ロータリークラブの当時の江頭会長に連絡を取り、グローバル奨学金候補生として推薦して頂いた形になります。

アメリカに留学した目的は大きく分けて2つあります1つ目は医療過疎地にITや遠隔医療機器の導入を行いたいと考えたからです。私自身が医療過疎地の出身であり、僻地に限られた医療者数で治療や診断を届けるためにはどうしたら良いかとすることを考えておりました。そこでAIや遠隔医療を現場に導入することで、より効率よく患者様を診断できるのではないかと考えました。現在日本国内の医療機器メーカーと協力して国内の病院での臨床治験を行い遠隔型の聴診器を開発しています。プロトタイプを開発し、必要な現場に届ける。そういう時に医療の知識に加えて経済・経営の知識が不可欠であると考え、現在勉強しています。

2つ目の理由は医療経営を学び必要な場所で生かすと言うことです。2018年にカンボジアで医療ボランティアとして活動しましたが活動自体が寄付金に頼っていたためボランティアスタッフは自分の生活もままならない状況でした。日本国内の医療機関では多くの場合、組織の方針の決定権は医師にあります。ただ医師は医療のプロフェッショナルであってマネジメントのプロではありません。私がいたボランティア団体では自分の貯蓄を切り崩してボランティア活動を続いている医師がほとんどであり、資金が尽きると日本に帰ると言った現状がありました。

アメリカには医療経営と言う概念が古くから根付いており医師であっても組織を率いる立場にある方がマネジメントや経営を学ぶという考えが根付いています。この医療経営を学びボランティア団体や、医療機関での運営の改善に役立てることができればと考えています。

ここから現在の生活についてご報告させていただきます。2022年7月1日に成田空港を出発しました。江頭様、遠藤様、君塚様はじめ八千代ロータリークラブの皆様に盛大にお見送りをしていただきまして本当にありがとうございました。そして同日の夕方にアナーバーに到着しました。アナーバーはミシガン州にあります。人口は120,000人面積は71平方キロメートル日本との時差はマイナス13時間です。ミシガン州について少しご紹介させていただきますと、アメリカ北部に位置し、五大湖を挟んですぐ北にカナダが見えています。人口は約1000万人、州都はランシング、最大の都市はデトロイトです。デトロイトと聞くと、かなり治安が悪い印象がある方もいらっしゃるかと思いますが、全米の銃の発砲事件数トップ3位に常に入っているような所でした。最近は都市開発が進んでいて、治安も比較的よくなっています。また、私の住んでいるアナーバーからは車で1時間ほど離れているので影響はほとんどありません。また、デトロイトと聞くと自動車産業を思い浮かべる方もいるかもしれません。20世紀にフォード社により、移動式組み立てラインが開発されました。自動車産業がヨーロッパやアメリカ南部からの移住者を集めました。人種としては白人が約8割、黒人が15%、アジア人は0.6%となっています。ドイツやアイルランドといったヨーロッパからの移民を先祖に持つ人が多く、特にドイツの文化として、ビールの製造が盛んです。これは余談になるのですが、アメリカに来て驚くことは、なんといっても物価の高さです。現在1ドル約144円。自分を含め、こちらの日本人の留学生をみていても本当に生活が大変です。卵1パック約900円、プロッコリー1000円以上、あと生活必需品の値段が上がって、トイレットペーパーも8ロールで1500円くらいします。インフレと円安の影響で帰国する日本人留学生や研究者も出始めており、これは本当に深刻な問題と考えています。

次に現在私が学んでいるミシガン大学について少しご紹介します。アメリカの中では歴史のある大学で、1817年に創立された、全米最古の公立大学です。キャンパスの広さは2万965エーカー。東京ドームで計算すると1750個分と、広大な敷地を持っています。スクールカラーは青色とメイズ。メイズは聞きなれない方もいるかと思いますが、トウモロコシの色、黄色を意味します。学生数

が約43000人、教員数が18000人で、学生に対して教員の比率が高く、教育水準も高い大学になります。また、先ほどアナーバーの人口を約12万人とご紹介しましたが、学生と教員足して約6万人であり、人口の半分が大学関係者であることがあります。このように大学を中心とした学園都市となっています。私が所属しているビジネススクールは、メインキャンパスの敷地内にあります。先ほどの建物と比べるとやや近代的な建物です。中も吹き抜けの構造になっており、ここで約400人の学生が学んでいます。7月にこちらに到着して、どういった生活をしていたかといいますと、まず、8月の半ばまでは留学生用の英語プログラムに参加していました。月曜から金曜まで、毎日、アカデミックライティング、リーディング、リスニング、プレゼンテーション、アメリカの文化について授業を受けていました。日本の方はビジネススクールには8人、公共政策の学部に6人いらっしゃいます。そのうちの約半数が、国からの公費派遣や、会社からの派遣で留学をしています。こちらに来てから、アナーバーロータリークラブの方々とも交流させていただいています。アナーバーロータリークラブのカウンセラーのルイスさんには、アメリカに来てから生活の立ち上げなど、様々な面でサポートしていただいています。

8/24に例会に参加させていただき、日本から持参した八千代ロータリークラブのハーナーと、アナーバーロータリークラブのハーナーを交換させていただきました。

8月の半ばからはビジネススクールの授業が始まっています。1クラス約80人程度、ほとんどがアメリカ人です。留学生は3割程度いますが、その約半数がインド人です。日本人はクラスに1人のみです。現在は会計やストラテジー、ミクロ経済、統計といった基礎的な教科を学んでいます。予習、復習も多く、試験も毎週あり、なかなか大変ですが、新しいことを学ぶことができる有り難さを感じながら毎日過ごしています。

課外活動としては Healthcare and Lifescience Club に参加し、アメリカの医療について勉強しています。また、Japan Business Association という組織に参加し、日本人として、日本の文化、ビジネスについて、アメリカ人や留学生について発信する活動を行っています。

少し面白い授業があったのでご紹介致します。ウェルビーイングについて考える授業だったのですが、日本の文化として、生きがい、という概念が取り上げられました。私自身は生きがいを分解して考えたことはなかったのですが、好きなこと、得意なこと、あなたが時間を割く価値があるもの、そして世界から必要とされていること、その全てを満たすところが生きがいで

ある、という教えでした。生きがい、これもまた日本が誇る文化であったのだと、気付かされた授業でした。その他こちらに来て発見したこと、驚いたことのご紹介ですが、まず一つ目はカレッジ・ソフトボールに対する熱量です。いわゆる、大学生のアメリカン・ソフトボールのリーグになるのですが、こちらでは、プロ、もしくはそれ以上の人気があります。日本ではみたことのないくらいの観客で溢れかえっています。大学のスタジアムの席数は11万。全米最大の席数のスタジアムです。繰り返しになりますが、アナバーーの人口が12万人なので、11万人も試合に来るということは、文字通り町中が空っぽになります。

少し真面目なトピックに戻しまして、MD/MBA ホルダーについて少しお話ししたいと思います。MD/MBA というのは日本ではあまりなじみがない言葉かと思いますが MD いわゆる医師の資格と MBA を持つ人のことを指します。今ミシガン大学のビジネスクールは1学年 350 人のうち 14 人が医学部の学生です。ビジネスクールの生徒数からすると少ない割合のように見えるのですが、医学部の定員が1学年 100 人弱なので医学部の学生の約 15% が医師を目指しながら MBA の勉強をしていると言うことになります。その他同級生にもすでに医師として働いている方や看護師の方もいらっしゃいます。全米では今現在 500 人の学生が、この MD/MBA プログラムに所属していると言われています。このようなキャリアがアメリカで増えてきているような背景としては、やはり医療機関での意思決定を下し、組織マネジメントできる人材がなかなか居ないという問題がありました。医療現場に精通していくかつ、経営の面で意思決定を下せる、そういった人材を育てることの必要性が言われており、この MD/MBA の制度ができたと言われています。その他には医療費の削減、保険制度の改善改良の場面にも彼らが必要とされています。アメリカの医療費は莫大であり保険制度もプライベートの保険がほとんどです。医療費の削減ですかアクセスの効率化の部分に彼らの知識が必要とされています。その他にはテクノロジーと医療現場を繋ぐキャリアを歩んでいる人もいます。医療現場の問題を、テクノロジーと繋ぎ、解決する為には、医療現場のニーズに精通し、病院の外でも柔軟に行動できる人材である必要があり

ます。現在日本ではなじみのない MD/MBA と言う人たちですが、医療と経済の両立と言うのは昨今のコロナ禍をへて日本でも呼ばれるようになります。この2つの分野、医療と経済の橋渡しをできるような人材に自分もなっていきたいなと考えております。

最後に今後の予定について少しお話しします。まずは目の前にある試験や課題をこなしつつ、アメリカの医療経済を学ぶ勉強会に積極的に参加していきたいと思います。また、10月にはアナバーロータリークラブ主催で、ミシガン大学に留学している日本人留学生、研究者のための交流会が開かれる予定ですので、参加できることを楽しみにしています。こちらでの生活はニュースレターを通して今後もご報告させていただければと思います。

ご清聴ありがとうございました。

～ニコニコ BOX～

¥23,000-

☆早いもので 80 歳になりました。 石渡
☆う～ん！

☆73 歳になってしまいます。風間
☆久しぶりの参加になります。なかなか
参加できずすみません。久土地
☆10/15(土)八千代市民祭りを八千代市
多目的広場で開催します。ご協賛いた
だきありがとうございました。 杉山
☆担当例会宜しくお願ひします。田村
☆松井さんリモートでの卓話ありがとうございました。
遠藤・池田・宮野・君塚欣哉・日下部
江頭・佐々木
☆前回欠席しました。 石渡

～友愛 BOX～

¥28,000-

☆結婚記念日 27 回目になります。中村
☆結婚記念日、忘却の彼方。 橋本
☆妻にお花有難うございます。 松戸
☆松井さん卓話よろしくお願ひします。
山浦・君塚桂一・菊川・朝戸・佐久間
安宅・小村・江口
☆本日会長の代理を務めます。 飯生
☆リモート卓話関係者の皆さま

☆頑張って下さい。 三井
☆9/17 午前 10 時から村上緑地公園にて
八千代彼岸花祭りを開催します。
ご来場お待ちしています。 杉山
☆残暑厳しい今日この頃。 植村
☆小学4年生の孫にオセロで大敗。
悲喜こもごも。 佐野
☆朝晩涼しくなってきました。 渡邊

	会員 総数	出席 対象者	出席者	%
9 / 16	5 2	4 6	4 0	86.95
9月のロータリーレート	1 ドル	¥ 1 3 9 -		

近隣クラブ例会日

火曜日	四街道 R.C	例会場
火曜日	八千代中央 R.C	四街道ゴルフクラブ
水曜日	習志野 R.C	ヴィッシュトンホテル・ユーカリ
水曜日	佐倉中央 R.C	習志野商工会議所会館
木曜日	佐倉 R.C	第1ヴィッシュトンホテル・ユーカリ第3夜間オリバート
木曜日	習志野中央 R.C	フランス料理 シエ・ムラ
		習志野商工会議所会館

■クラブ広報委員会 委員長:田村隆治 副委員長:久土地 剛

■出席委員長 山浦恭宏 ※欠席の際は必ず火曜日までに出席委員長に連絡して下さい。